



喜多流 自主公演

平成二十九年六月

平成29年 6月25日(日)

12:00開演(11:00開場)

十四世喜多六平太記念能楽堂

料金:全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階後座席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円(25歳以下、要学生証提示)

・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。
お気軽にご参加ください。

・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催:公益財団法人 十四世六平太記念財団

協力:喜多流職分会

後援:品川区、品川区教育委員会

助成:文化庁(平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業)



忠 源氏供養 栗谷明生
殺生石 舞入 長島茂
高林 呻二

チケット予約購入のご案内

インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>
(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL.03-3491-8813
(午前10:00~午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。
入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

窓口

喜多能楽堂事務局 TEL.03-3491-8813
(午前10:00~午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。
ご予約の際ご案内いたします。

※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

ご注意

- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・ロビー・見所での飲食はできません。2階ラウンジをご利用ください。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。コインロッカーもご利用ください。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

- ・ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な年間優待券です。
- ・お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分会でも承ります。
- ・ご観覧の際は別途、座席指定券をご予約ください。
 - ・追加料金はかかりません。
 - ・ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。
 - ・年間優待券のみでの観覧はできません。
 - ・ご入場の際は、年間優待券と座席指定券をご提示いただきます。
- ・ご利用は、表記年度中(4月~3月)の喜多流自主公演のみ有効です。古年能には使用できません。

自主公演観客席御案内



S席	9,000円	C席(1階後座席)	6,500円
A席	8,000円	D席(2階席)	6,500円
B席	7,000円	学生席(2階席)	2,500円

会場案内図



JR線・東武日暮沢線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに日暮沢より徒歩7分。
日暮沢西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。

※喜多能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-4W21 東京都品川区上大崎4-6-9

TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999

喜多能楽堂ホームページ: <http://kita-noh.com/>

六月自主公演番組

能

後シテ平忠度の舞
前シテ掛加 栗谷明生

忠度

ワキ 藤原 常好

ワキ連 藤原 常太郎

ワキ連 藤原 則久 英志

アイ 須磨の浦人 河野佑紀

大鼓 亀井広忠 前 藤田朝太郎
小鼓 観世新九郎

後見 香川靖嗣
松井 彬

友枝雄太郎 佐々木多門
佐藤 陽 金子敬二郎
佐藤寛泰 栗谷能人
谷 友矩 内田成信

狂言

雁大名

シテ大名 野村万蔵

アト太郎冠者 能村品人
小アト 藤原 野村 萬

休憩(二十分)

能

後シテ紫式部の舞
前シテ里女 長島 茂

源氏供養

ワキ 安房院法印 館田善博

舞入

ワキ連 藤原 梅村昌功

ワキ連 藤原 吉田祐一

大鼓 佃 良勝 前 一噌庸二
小鼓 曾和正博

後見 友枝昭世
内田安信

金子龍晟 谷 大作
塩津圭介 狩野了一
友枝真也 出雲康雅
狩野祐一 大島輝久

休憩(十分)

仕舞

嵐山

友枝真也

塩津圭介
佐藤章雄
大島政允
金子敬二郎

能

後シテ妖狐の舞
前シテ里女 高林 呷一

殺生石

ワキ 安房院法印 村瀬 提

アイ 女翁の能力 野村万之丞

大鼓 佃 良太郎 太鼓 大川典良
小鼓 幸 信吉 前 寺井久八郎

後見 栗谷幸雄
塩津哲生

高林昌可 栗谷充雄
佐藤 陽 中村邦生
栗谷浩之 大村 定
谷 友矩 友枝雄人

附祝言

忠度(ただのり)

旅僧が、須磨の浦で薪を運ぶ老人に出会い、一夜の宿を求め、すると平忠度の詠んだ「行き暮れてこの下蔭を宿とせば 花や今宵の主ならまし」の歌を引いて、この花の蔭ほどの宿は他にないと憚に勧める。そして自分がその忠度であることをほめかして妻を消す。「中入」旅僧が花の蔭に仮寝をしていると、夢の中に平忠度の霊が現れる。忠度は自分の歌が「下蔭集」に採りされたが勲徳であるのに、「読み人知らず」とされたことを嘆き、都に帰ったらこれを業者の藤原俊成の子、定家に伝えて作者名を明記して欲しいと訴える。そして出陣の際に藤原俊成の家を訪ね歌を託したこと、一の谷の合戦で岡部六弥太と戦って討死したこと、その際に直につけた短冊で六弥太に名を知られたことを物語り、跡の平いを頼んで消え失せた。

(約九十五分)

雁大名(がんだいみょう)

訴訟も片づき同もへ帰国する大名が、在京中に世話になった人に振る舞いをしようと、太郎冠者に看になるものを買ってくるよう命じる。太郎冠者は、初雁(はつがん)を買おうと店の亭主に値を負けさせますが、代金を持っておらず約束だけして引き返す。そのことを大名に告げると、大名も金を持っていないと言るので、冠者はただで雁を手に入れる方法を思いつき、まずは大名が先ほどの店へ行ってお言葉で亭主に近づくと...

(約二十五分)

源氏供養 舞入(げんじくようまいり)

安房院の法印が石山寺へ参詣しようとする途中、女に呼止められる。自分は石山寺で「源氏物語」を書いたが主人公の光源氏の供養をしなかつたために成仏が出来ないので、光源氏と自分の供養を求めてくる。そして里女が紫式部の霊と分かる。法印は供養を引き受ける。「中入」法印が石山寺で光源氏と紫式部の霊の供養をしていると、紫式部の霊が現れ、「源氏物語」の巻の題を織り込みつつ、世の無情と弥陀の導きを願った舞を舞う。そして光源氏の供養と併せて自らも成仏が出来ると言ってお詫言「源氏物語」は石山の観世音が紫式部となって仮にこの世に現れ、この世が夢であること。この物語によって人々に知らせた方便であるといってお詫言失せる。

(約八十五分)

殺生石(せつしようせき)

玄翁和尚が須磨野原を通りかかると、ある石の上で鳥が落ちるのを不思議に思い近づこうとする。すると里女があらわれ、これは殺生石といつて恐ろしいところなので立ち去るようという。玄翁がその石の謂れを問うと、昔、鳥羽の院に仕えた玉藻前は実は妖狐で、帝に近づいて命を取ろうとした。しかし陰陽師の安倍泰成に止休を見破られてこの野に逃げてきたが退治され、その執心が石となったと語る。女は自分がその石魂であると明かして石の中へ消える。「中入」玄翁が石に向かって仏尊をせみ引尊を渡すと、石が割れて中から妖狐の霊が現れる。そして、国を滅ぼそうと玉藻前になり近づいたが安倍泰成に討伏され、追わされた二人の武士に退治される。その後、その執心が殺生石となって悪事をしてきたと語るが、玄翁の法力を得て今後は悪事はしないと約束をして消え失せる。

(約七十分)

平成二十九年 九月 自主公演番組予告

平成二十九年 九月二十四日(日) 正午始
十四世喜多平太記念能楽堂

経 政 谷 大作
半 部 友枝真也
阿 漕 出雲康雅